

第1回戦術委員会確認事項

2016年12月19日
全日本金属産業労働組合協議会
(金属労協/JCM)

金属労協は、第1回戦術委員会において、2017年闘争の進め方を以下のとおり確認した。

1. 金属労協は、12月2日に開催した第59回協議委員会において、2017年の闘争方針として、「2017年闘争の推進」を決定した。各産別・単組は、この方針に基づき要求の策定作業を進めていく。
2. 2017年闘争では、「人への投資」による金属産業に働く者の生活向上と安心・安定の確保、人材の確保、職場全体のモチベーションの向上を図るため、継続的・安定的な賃上げに取り組んでいく。また、すべての組合が賃上げを獲得することを通じ、すべての勤労者に賃上げの効果を波及させるため、賃金の底上げ・格差是正の実現に向け、着実な前進を図る。
強固な現場、強固な金属産業、強固な日本経済を構築すべく、5産別の強力な結束の下、「3,000円以上の賃上げ」をはじめ、賃金・労働諸条件の引き上げ・改善、非正規労働者の雇用と賃金・労働諸条件の改善、バリューチェーンにおける「付加価値の適正循環」構築、政策・制度要求に取り組んでいく。
3. 2017年闘争の主要日程を下記のとおり設定し、金属労協の総力を結集して闘争を推進する。
 - 2017年1月24日(火)に「2017年闘争推進集会」を開催し、JC共闘強化に向け、各産別の闘争方針および経営側に対する金属労協の主張点について、理解促進を図る。
 - 1月25日(水)に全国の最低賃金担当者を対象とした「最低賃金連絡会議」を開催し、2017年度の特定(産業別)最低賃金の取り組み方針について、共有化を図る。
 - 大手労組を中心とする集計対象組合を中心に、2月22日(水)までに要求を提出し、直ちに交渉を開始する。
 - 連合方針を踏まえ、JC共闘の集中回答日は3月15日(水)とする。加えて、各産別の主体的な取り組みの下で共闘を展開し、3月月内決着をめざす。
 - 地域における賃上げの相場形成に向け、速報対象組合を設定し、その回答引き出し状況を迅速に公表していく。
4. 第2回戦術委員会は、1月18日(水)午前10時より開催する。

2017年闘争の日程配置

2016年	12月	19日	(月)	9:30	第4回書記長会議
		19日	(月)	15:30	第1回戦術委員会
		21日	(水)	15:30	第1回中央闘争委員会
2017年	1月	13日	(金)	15:30	第5回書記長会議
		18日	(水)	10:00	第2回戦術委員会
				15:30	第2回中央闘争委員会
		24日	(火)	13:00	2017年闘争推進集会
		25日	(水)	13:00	2017年最低賃金連絡会議
	2月	15日	(水)	15:30	第6回書記長会議
					集計対象組合を中心に、2月22日(水)までに要求提出
		23日	(木)	10:00	第3回戦術委員会
				12:30	記者会見…戦術委員(三役)対応
				15:30	第3回中央闘争委員会
	3月	10日	(金)	9:00	第4回戦術委員会
		15日	(水)		集中回答日
					戦術委員会
					記者会見…戦術委員対応(1時間)
					第4回中央闘争委員会
	4月	4日	(火)	10:00	戦術委員会
				13:00	中小も含めた全体の回答状況に関する記者会見…戦術委員対応

以 上